

令和2年1月18日（土）  
まちづくり井戸端座談会

# 野洲市民病院整備について

政策調整部

# 建築工事入札結果の検証

- 入札結果

令和元年11月14日執行

参加業者3社(うち1社は事前辞退)

最低応札額 9,704,200,000円(税込)

予算限度額 8,500,000,000円(税込)

差額 約12億円

- 検証方法

設計積算額と見積り内訳との比較

参加業者へのヒアリング

- 検証結果

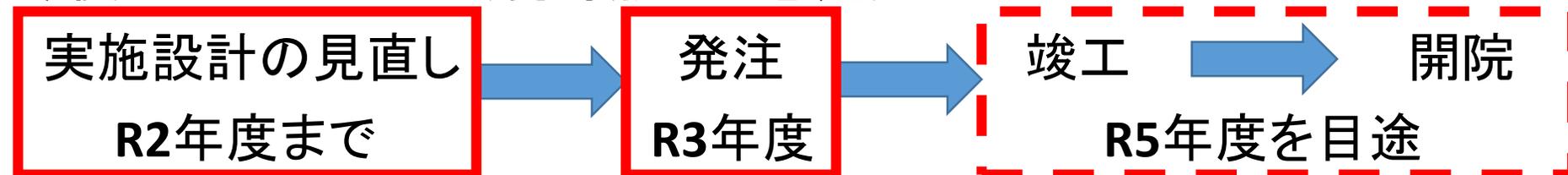
高力ボルト等の鉄骨、金属関連を中心とした資材価格及び技術作業員不足による  
労務費の高騰による影響が大きい。

# 市民病院整備設計見直しの基本方針

- 現実施設設計を基本として見直す。
- 当初の建設工事費(予算限度額)の増額を行わない
- 高度急性期病院と診療所(在宅支援)の間の位置づけを再確認
- 病院として必要な機能を改めて明確にする。
- 意匠よりは機能、安全、快適性を優先する。
- 実施設計委託前の原案には病院スタッフ、医療関係者、大学等の意見を反映
- 速やかに作業を進め、今年度内に実施設計を(随意契約)委託

## 【補正予算の提案】

- 今後のスケジュール(現時点での想定)



# 実施設計変更業務の発注に係る仕様

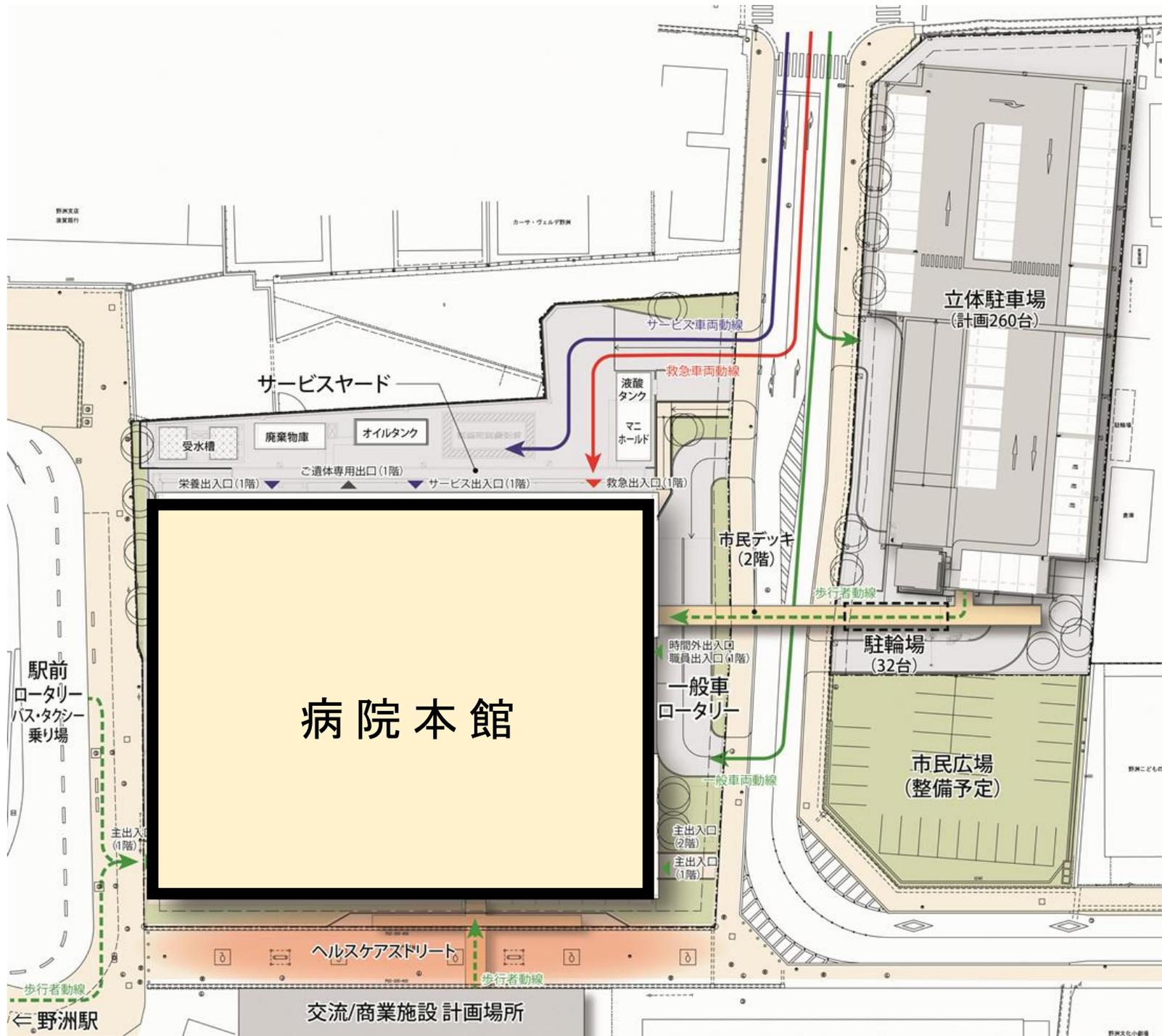
- ①病床・病棟規模 4病棟 179床
  - 急性期 90床(個室14室) 2病棟
  - 回復期 41床 1病棟
  - 地域包括ケア 48床 1病棟
- ②診察室 15室(予備1室含む)
- ③外来診療科及び常勤医の配置等
- ④手術室 2室
- ⑤当直室 5室
- ⑥放射線部門 1階:CT、MRI・2階:その他(X線-TV、一般撮影等)
- ⑦1-2階エスカレータをエレベータに変更し、階段を付設
- ⑧2階の吹き抜け部分をフロアとする。
- ⑨建物階数の変更(6階→5階)による面積削減(約3,000m<sup>2</sup>)
- ⑩屋上空間の活用を検討
- ⑪野洲けんこうホールを取りやめ、文化小劇場等を利用
- ⑫コンビニ・イトインを取りやめ院内売店機能のみとして面積縮小

実施設計変更業務発注段階における外来診療科及び常勤医の配置等

No.	診療科	常勤医師	常勤医師を要望	専用の診察室	他の診察室と併用	処置室
1	一般内科			○		
2	糖尿病内科		○	○		
3	循環器内科	○		○		
4	消化器内科	○		○		
5	呼吸器内科			○		
6	脳神経内科		○	○		
7	皮膚科				○	
8	小児科	○		○		○
9	外科1診	○		○		○
10	外科2診	○		○		外科1診と共用
11	整形外科1診	○		○		○
12	整形外科2診	○		○		○
13	脳神経外科				○	
14	婦人科	○		○		○
15	眼科		○	○		○
16	泌尿器科	○		○		○
17	腎臓内科		○		○	
18	看護系				○	
	合計			14室	4室	7室

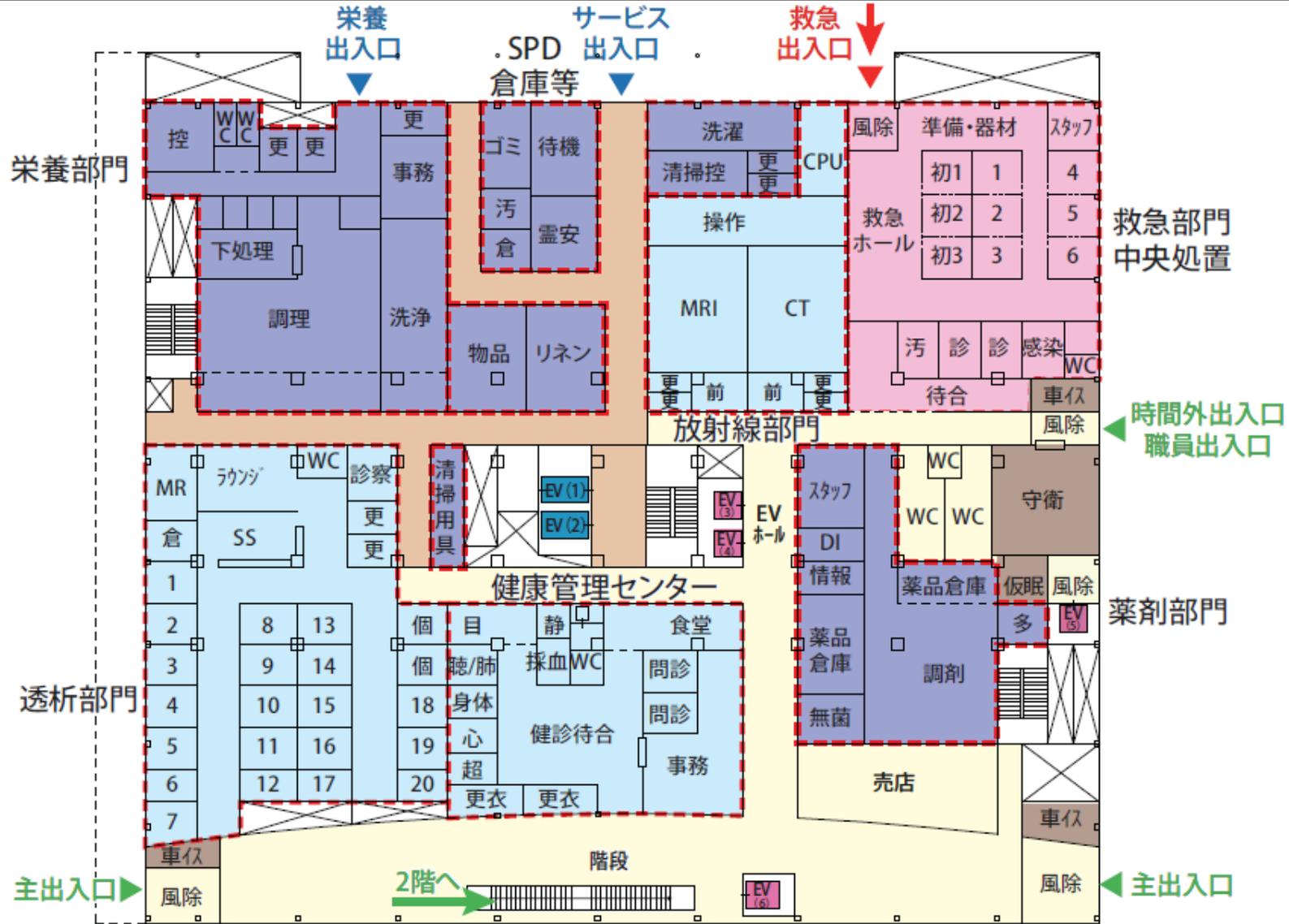
\* 常勤医師については、診療科によっては複数名の場合もあります。

# 外部動線計画



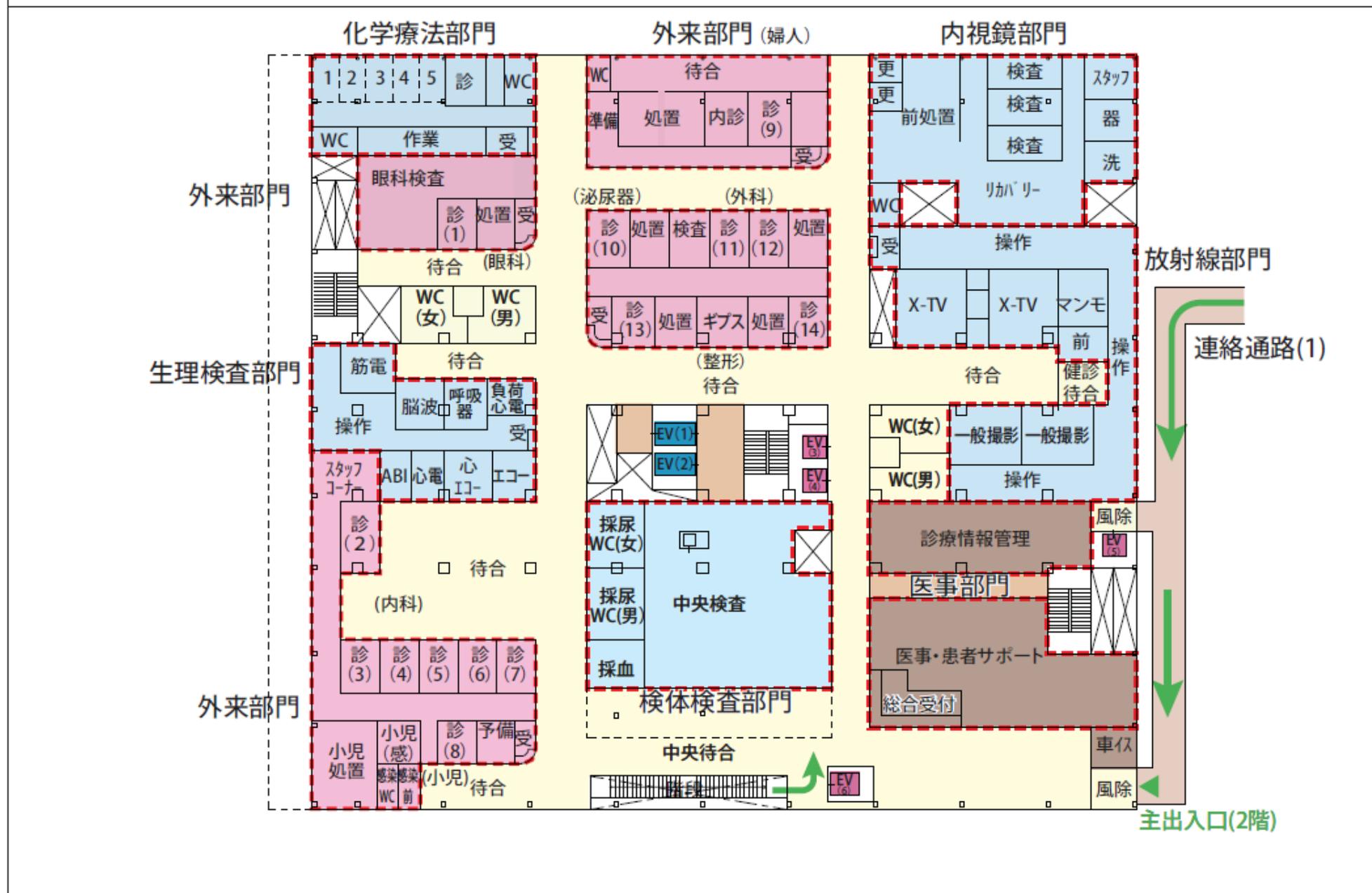
※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□1階平面図 基本設計案



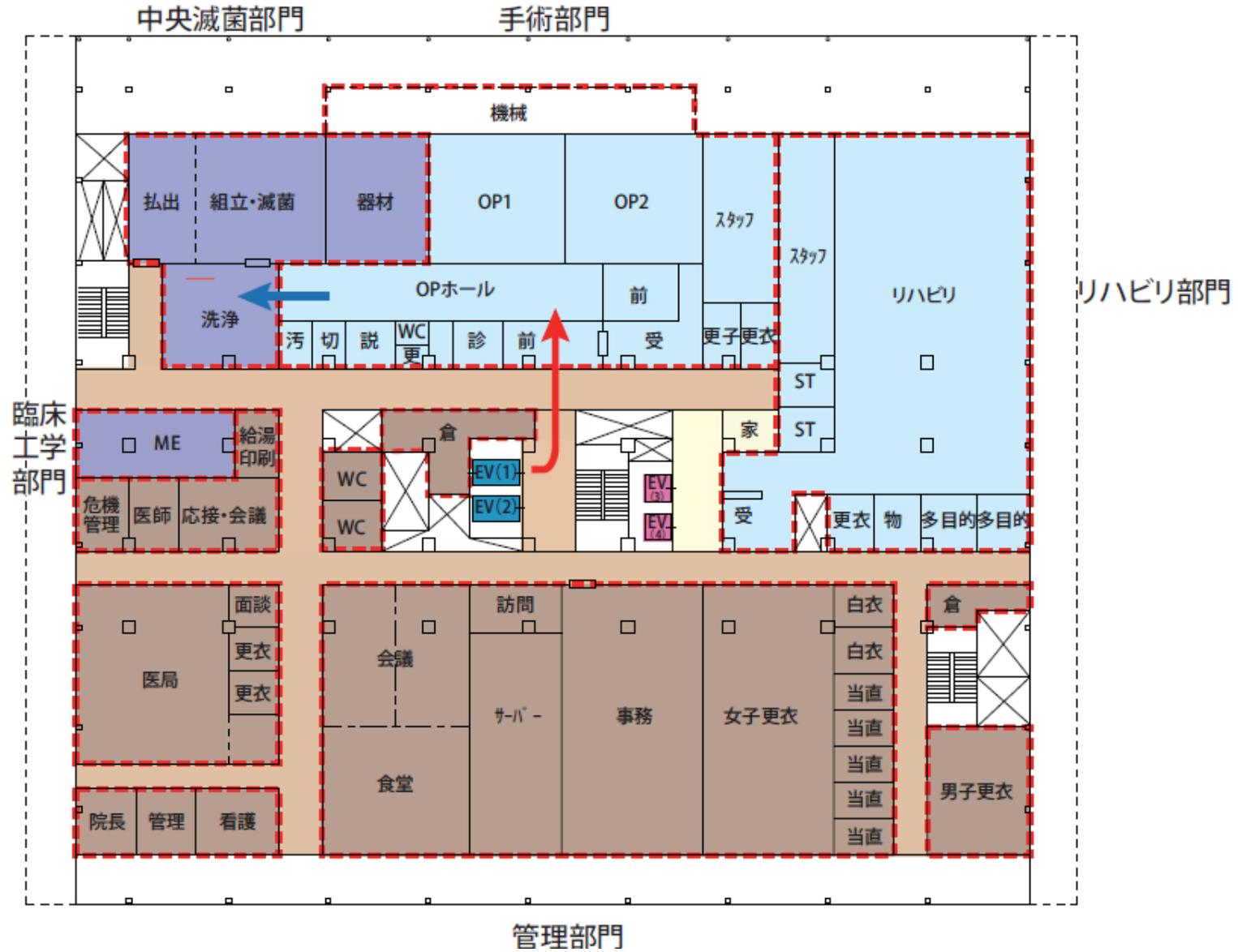
※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□2階平面図 基本設計案



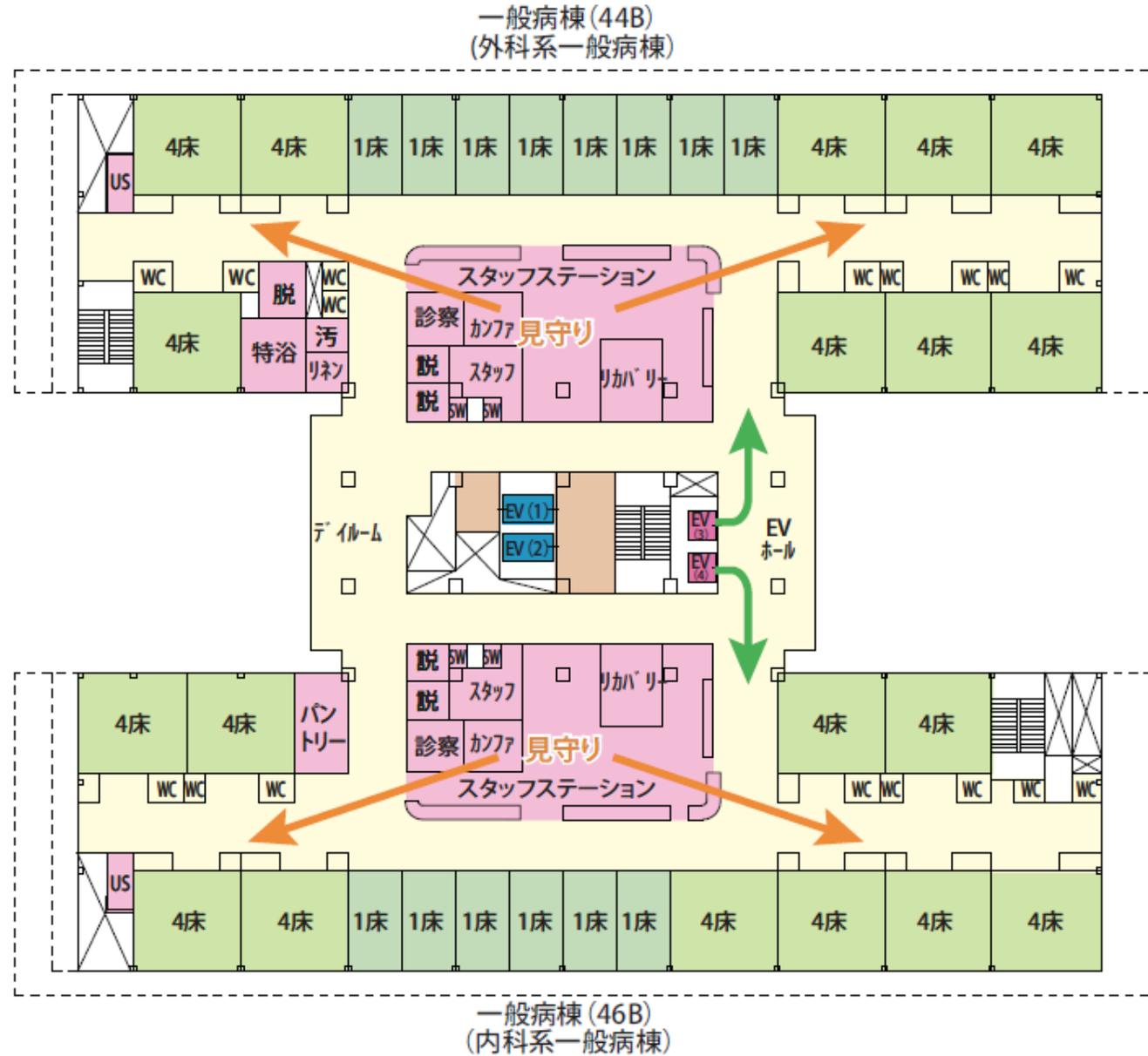
※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□3階平面図 基本設計案



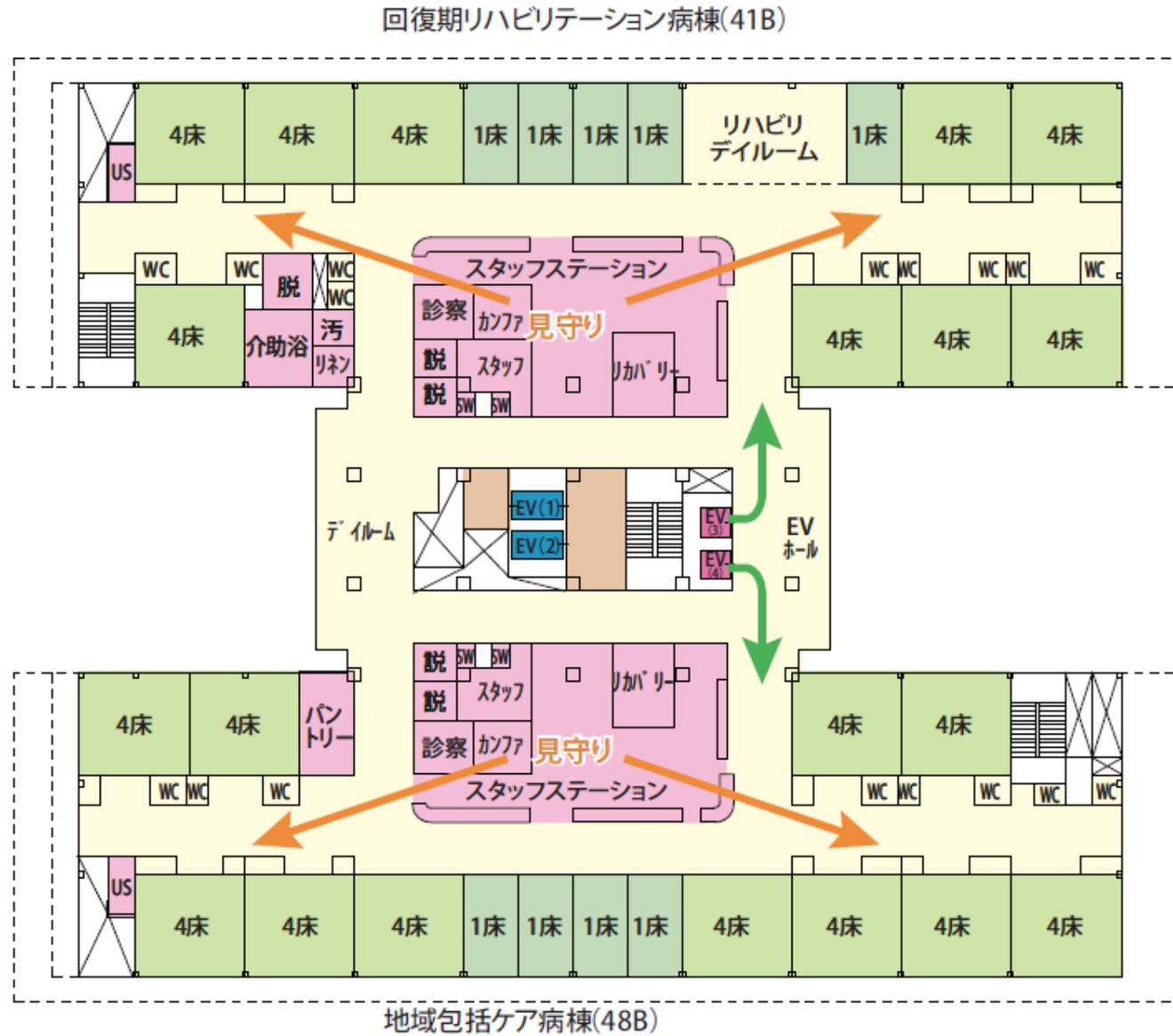
※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□4階平面図 基本設計案



※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□5階平面図 基本設計案



※この案は、今後、実施設計の見直しの中で具体化を図っていきます。

□6階平面図 基本設計案

